

議会報告会2018

市民と議員の懇談会(第1回)

もっと身近な議会へ
もっと確かな議会へ

を開催

今年度の市民と議員の懇談会は6月と10月の2回に分けて開催する運びとなりました。18人の議員を9人ずつに配分させていただいております。

以前のような議会からの情報発信を中心とする形式から、市民の方々と膝を交えて直接意見を頂くとする形式に変えて3年目になります。良かつたという御意見を多く頂戴しています。市民の代表者として御意見を集約し、議会としてしっかりと執行部に伝えていくという役目を果たしていきたいと考えています。

議会改革等
プロジェクトチーム
リーダー 高橋 剣二

●議会への疑問、意見を聞かせたい

●意見交換のテーマもいろいろ

地域の課題について a シティプロモーションについて 高齢者福祉について c 子育てについて

小・中学校の教育について b 公共施設について 野きほグループを導くノウハウ

[6/23(土)] 鶴ヶ島市役所 503・504会議室
13:30~15:30

市民と議員の懇談会

みなさんの声を市政に届けて

主催：鶴ヶ島市議会
問合せ：鶴ヶ島市議会事務局 TEL049-271-1111 (内線361)

誌面の構成上、意見は一部を割愛しています。
ホームページも御覧ください。

意見交換グループ	意見交換テーマ	担当議員
a	① 地域の課題について ② シティプロモーションについて	内野 嘉広 大曾根英明 小川 茂
b	① 公共施設について ② 小・中学校の教育について	五伝木隆幸 大野 洋子 杉田 恭之
c	① 高齢者福祉について ② 子育てについて	松尾 孝彦 太田 忠芳 金泉 貴子

グループ a

参加者からの 主な意見

①地域の課題について (参加者14人)

- 自治会活動は、本来の自治会の姿を考えて、見直しを図るべき。
- 若葉駅西口広場でのつるがしまルシエは、騒音問題で使えなくなった。鶴ヶ島でイベントを行うことは本来有り難いことであり、市の活性化に大きく貢献する。議員も市との仲介役を果たしていくべき。
- 地域の人材育成を市が中心となって推進してほしい。
- 高齢を理由に自治会を退会する人が増えている。また、若い世代は無関心の人が多い。役員などは持ち回りのため、自分事として地域のことを考えていない。
- 杉下小学校校区の防災について、自治会と避難地域のキャパシティに問題がある。
- 防災について、地域の自治会員には情報が届くが、自治会員以外には情報が行き届かない。その溝をどう克服していくのか。
- ゴミ集積所で、危険な箇所や衛生的にひどい状況のところがある。自治会で対応しているが、市も対応に関わっていくべき。
- 中新田、下新田地区の下水道整備が進み、大変有り難い。
- 一本松駅南口駅前交通広場が出来上がったが、南口は開設されていない。車の通行が多く、狭い踏み切りを渡らなければならず、高校生の通学時間は特に危険。一本松駅の整備について、計画性を持って取り組んでいるとは思えない。
- 鶴ヶ島農村センターから北側の道路は、歩道が狭く、側溝の上を歩いている。農地からの土砂も歩道に流れ込んでいる。
- つるがしまバス・つるがしまワゴンを、より利用しやすいコースに。
- 道路計画をきちんと進めてもらいたい。財政的に厳しいことは分かるが、計画進行や進捗状況などが市民に伝わっていない。計画の実効性や利便性などの検証を行い、市民に報告を。
- 一本松駅北口からの道路の歩道に白線がなく、安全対策が必要。危険防止のため、昨年4月から、地域住民が朝の立哨指導を行っている。
- 自動車運転手の交通マナーが悪い。道路が狭い区間では、子どもたちが心配である。
- ホームページのより一層の充実を。特に運動公園などで行われる催し物、スポーツイベントや大会などの掲載を。